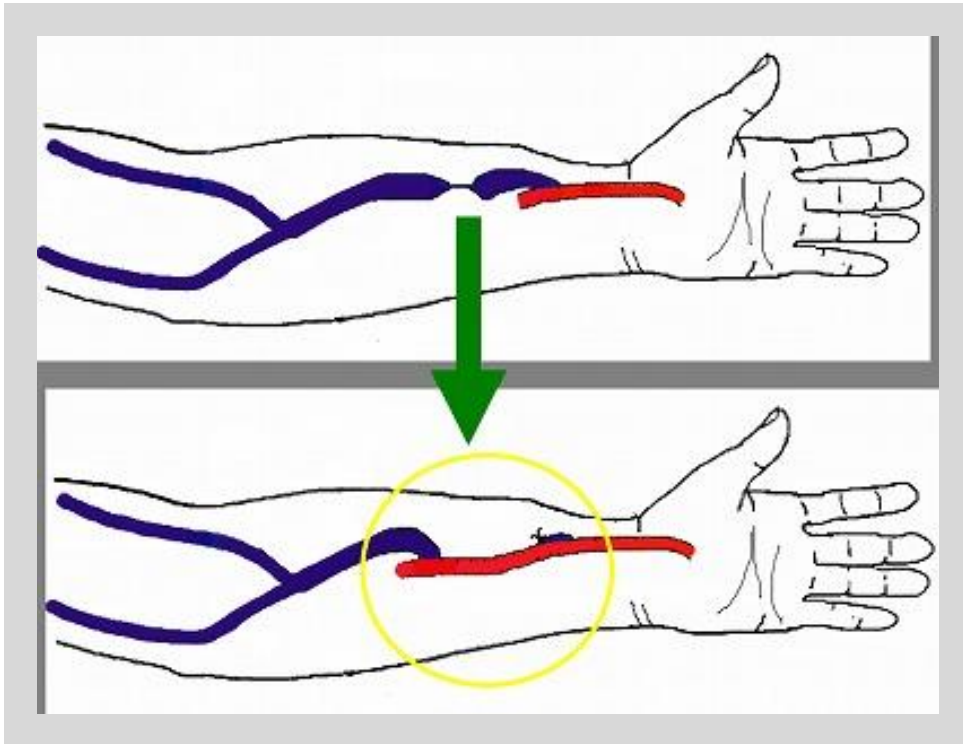


【なぜシャント PTA なの？】

狭くなってしまった血管を治療する方法には、二つの方法があります。ひとつはシャント PTA ですが、もう一つの方法は手術によって作り直す方法です。

手術にて作り直す方法では、下図のように吻合部（動脈と静脈を繋いだ所）の場所を、狭窄部分を切り取って繋ぎ直して変えることとなります。それによりシャントが短くなってしまい、穿刺できる所が少なくなってしまうます。



よって PTA は新たなシャントを作り直す機会を、将来に温存することができる点に最大の意義があるわけです。

しかし、PTA も絶対的な治療ではありません。広げた所がしばらくすると細くなってしまいます（再狭窄）。その場合は再度 PTA をすればよいのですが、頻回に繰り返す（1～2 ヶ月）ようになれば、そのシャント温存は限界と考え手術により作り直しを考えなければなりません。

【おわりに】

シャントに何らかのトラブル（狭窄・閉塞・感染など）が起きた場合には、PTA や手術によって治療を行うことは可能です。しかし、治療をすることによってシャントにダメージを与えていることも事実です。よって普段からご自分でもシャントを大切に扱い、トラブルが起きないように、しっかり日常管理を行ってください。